

## 環境保全指向を持った国際的技術者の育成

海外先進研究実践支援とは、大学等の教職員を国外の教育研究機関等に派遣し、教育研究能力等の向上を図る優れた取組みを選定し財政支援を行うことで、教育研究の国際化及び高度な人材育成に資することを目的としています。本学では、文科省大学教育の国際化推進プログラムの内、平成17年度戦略的国際連携支援「ハイブリッド・ツィニングプログラムの推進」、平成18年度海外先進研究実践支援「サービス創造型モノづくり技術者の育成」に続き、下記プログラムが採択されました。

平成19年度「大学教育の国際化推進プログラム」（海外先進研究実践支援）

### 環境保全指向を持った国際的技術者の育成

- 環境意識を持った国際的電気工学技術者育成 -

電力システム技術、電気機器技術およびパワーエレクトロニクスなどの電気エネルギー変換技術は、太陽光、風力、潮力・波力などの自然エネルギー利用のキーテクノロジーである。すでに太陽光発電などの実用化が進んでいるが、電力用半導体素子の進歩と相まって、電気エネルギー変換技術の更なる発展が期待されている。温室効果ガス排出ゼロを目指す究極の自動車開発においても燃料電池、水素利用技術と並び中心的な技術であり、これら技術発祥の地である欧米に組織的な教育研究体制の取組みを学ぶべく、米国ウィスコンシン大学に教員を派遣する。WEMPEGでの研究活動を通じ、各国研究者との交流を図る。現在実務に従事する技術者の環境問題への意識付けおよび技術レベルの向上も重要な課題であり、将来的には、現役技術者に教育研究の場を提供することも視野に入れる必要がある。この意味でもWEMPEGへの参加は本学にとって大きな成果となることが期待できる。